



同窓会だより

編集・発行／岐阜県立本巣松陽高等学校同窓会事務局

〒 501-0407 岐阜県本巣市仏生寺 859-1 TEL (058) 324-1201 FAX (058) 323-0651

ホームページ <http://www.motosu-dousoukai.org/>

第 44 号

卒業生総数 30,437 人

| | |
|----------|----------|
| 本巣中学校 | 2,571 人 |
| 本巣高等女学校 | 2,592 人 |
| 併設中学校 | 682 人 |
| 本巣高等学校 | 21,299 人 |
| 本巣松陽高等学校 | 3,293 人 |

(平成 28 年 4 月 1 日現在)



同窓会長 川瀬善忠（昭 40 年卒）

創立 100 周年に向けて

松樹輝く緑の学園を卒業され、各方面で活躍されている同窓生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

本年、我が母校は、大正 9 (1920) 年に旧制・本巣中学として設立以来 96 年となり、4 年後の平成 32 (2020) 年には創立 100 周年を迎えることとなりました。

平成 12 年に、創立 80 周年記念事業として同窓会館「銀杏館」の建設、会員名簿や記念誌の発刊を行い、歴史にその歩みを築いてきたことは記憶に新しいことです。

その後、学校の統合や校名変更等、岐阜県による教育改革が行われましたが、本巣の大地、糸貫川のほとりで、「まことを尋

ねる精神」は脈々と受け継がれてきました。この度の創立 100 周年は、学校、同窓会および同窓生にとって歴史的な大きな節目となります。

この事業を推進するため、本年の 6 月に「実行委員会」を立ち上げ、具体的な準備活動をスタートすることいたしました。

事業推進には、3 万人を超える多くの同窓生の皆さんの協力と支援体制の構築が大切です。

そのため、昨年度から次のような取り組みや改革を進めています。

① 同窓会ホームページの充実と活用

② 同窓生に広く、迅速に情報を提供し、同窓会の動きを共有する場とする。提供

本巣松陽高校には、私の父の足跡がたくさんありました。同窓会総会に行くと父と本巣中学校と一緒に学んだ人や、地域に行くと父に授業で教えてもらった人や、PTA の会に行くと父に卒業証書をもらつたという人など、父のことを知っている方々がたくさんみました。これらのこととは、父自身が本巣中学校の生徒であつた頃、本巣高校の教員そして校長であつた頃の足跡でした。

私は今までの教員生活の中で、「あなたのお父さんはこんな人だつた。こんなことをやつた」という話を聞くたびに、父のよさで、この学校をより良い学校にするために、私は 2 つの目標があります。1 つは、生徒たちが希望進路を実現できるようにすること。もう 1 つは、生徒一人一人が地域をしっかりと担つていけるようにすることです。希望進路の実現のために、授業をより良くしていきます。50 数人の教員が毎日 4 時間、5 時間と行う授業の改善なくして

しかし、今は父の話をする人がいても、素直にその話を聞くことができません。父の足跡があるからこそ、未熟な私が何とかやつて行くことができるのだと思つているからです。今まで父に感謝することはあまりなかつたひどい人間ですが、今は感謝しています。

さて、この学校をより良い学校にするために、私は 2 つの目標があります。1 つめに、私には 2 つの目標があります。1 つめは、生徒たちが希望進路を実現できるようにすること。もう 1 つめは、生徒一人一人が地域をしっかりと担つていけるようにすることです。希望進路の実現のために、授業をより良くしていきます。50 数人の教員が毎日 4 時間、5 時間と行う授業の改善なくして

て、子供たちの学力を伸ばし、希望進路を実現させることはできません。2 つ目の、地域を担う人材を育成するためには、生徒が主体的に行動できるようにしていきます。本校に入学してくる子供たちの様子を見ていると、まだまだリーダーの経験が少ないので、彼らが主体的に考え行動し、リーダーとしての経験をすることを通して自信を付けていくよう、授業、部活動や生徒会活動などの中で、できるだけ多くの機会を与えていきます。

本巣松陽高校は父の母校であり、父は教員として、校長として、この学校をより良い学校にしようとそれなりに頑張つたのではないかと思います。それから 40 年の時が流れましたが、今私は父と同志のような気持ちでやっています。まずは、創立 100 周年を 4 年後に迎える本校が、これからどこに向かうべきか、その方向を定めたいと思つています。

のみならず、双方向の機能を大切にし、提案、情報提供、募集、知恵をいただく場ともする。そのため、各種行事、会議、事務的なお願い等、迅速に掲載するよう努める。

② 同窓会規約、組織等の見直しと改正、実務的な運営組織にするために、理事、常任理事に意思確認をするとともに、役員、理事の拡充を進め、理事会、常任理事会、総会の在り方を検討する。

③ 総会運営の工夫

当番学年を卒業 20 年目、30 年目の 2 学年とする。(平成 29 年度から)。当番学年以外の出席者を増やす工夫として各部活動の O.B.・O.G. 会への呼びかけをする。など、多くの同窓生が愛してくださる母校であるとともに、力を貸したい、集めたいという世代を超えた仲間がいてくださることを感じています。どうか会員皆様のお知恵を母校へ発信ください、創立 100 周年記念事業の盛り上げをお願いいたします。

本部総会・懇親会

常任理事 若原義弘
(昭60年卒)



平成 27 年度岐阜県立本巣松陽高等学校同窓会本部総会・懇親会が、8月8日(土)、ホテルグランヴェール岐山で、当番学年(昭60年卒)から86名が参加し、総勢 135 名で盛大に開催されました。

総会

総会は、西尾侑一常任理事(平16年卒)の司会進行で開始されました。遠山信義副会長(昭40年卒)の開会の辞に引き続き、中島洋晃会長(昭36年卒)、豊田文秀名誉会長(母校校長)および若原忠義顧問(昭17年卒)にご挨拶をいたしました。

次に、若原顧問のご退任、中島会長の顧問就任を含む平成27年度役員案をはじめとする7議案についての報告が承認され、その後、若原前顧問および中島前会長のご功績を称えるため川瀬善忠新会長から感謝状が贈られ、天野知子副会長(昭52年卒)の閉会の辞で閉じられました。

懇親会

総会終了後には、例年通り懇親会が開かれました。安藤智昭君による司会進行、平田英史君の開会の辞で開始し、板橋淳子さんによる恩師紹介に引き続き、今回お忙しい中ご参加いただいた窪田範男先生、大脇尚爾先生、田中輝夫先生の3名の恩師に一言ご挨拶をいたしました。続いて、若原の発声による乾杯の後、食事をしながらの歓談へと移りました。久しぶりに会うと、高校時代とほとんど変わっていない人もいれば、30年の間にずいぶんと体型や容姿が変化していて、名前を聞くまでは誰だか分からないと

いつた人もいましたが、そこは高校時代一緒に過ごした仲間同士、徐々に打ち解け、また、お酒の力もあり、一気に30年を遡ったかのように、当時と変わらぬ呼び方で声をかけ、大いに盛り上がりました。

時間も過ぎビンゴ大会の後、当時応援団だった森秀幸君の先導により、校歌を全員で合唱し、瀬川清泰君の閉会の辞で、一旦会を閉じました。

その後、同会場にて当番学年懇親会へと続きました。こちらでは、恩師の皆さんからもう一度ご挨拶をいただきましたが、総会・懇親会と比較するとずいぶんくだけた内容で、久しぶりの恩師の声に皆懐かしさを感じさせていました。

次に、会場にマイクを廻し、全員が自己紹介と近況報告をしました。30年の歳月でいろいろな経験をし、様々な立場でそれぞれが頑張っていることが伝わりました。また、当時の様子からは想像もできない仕事についていたり、現在は遠い地に住んでおり、はるばるこの会のために帰省してくれたりした人も何人かいることが分かりました。

そのあとも場所をえて二回会、三回会とそれぞれ気の合う仲間と柳ヶ瀬の夜を楽しんだようです。

総会・懇親会を取り仕切るに当たり、幹事の皆さんには、忙しい中、時間を割いていただき、感謝しています。後日、幹事数名での打ち上げを行いましたが、その席で、定期的に集まれる場を作ろうということでした。一致しましたので、何とか次回へ繋げていこう



卒業してから30年を迎えて
当番学年幹事 松岡太郎
(昭61年卒)

決して優秀であつた訳でもなく、特別なことをなした訳でもなく、今思えばあの

高校3年間は何をしていたのだろうかと考えるこの頃である。しかしながら、現実にこうして同窓会の案内をあちこちにしている自分がいるのは、やはり卒業生だったと実感するからである。一昨年、昨年と参加させてもらつて、先輩達の様子を見て感じたのは、同窓生は気兼ねなく話せるといふんくだけた内容で、久しぶりの恩師の声に皆懐かしさを感じさせていました。

次に、会場にマイクを廻し、全員が自己紹介と近況報告をしました。30年の歳月でいろいろな経験をし、様々な立場でそれぞれが頑張っていることが伝わりました。また、当時の様子からは想像もできない仕事についていたり、現在は遠い地に住んでおり、はるばるこの会のために帰省してくれたりした人も何人かいることが分かりました。

そのあとも場所をえて二回会、三回会とそれぞれ気の合う仲間と柳ヶ瀬の夜を楽しんだようです。

総会・懇親会を取り仕切るに当たり、幹事の皆さんには、忙しい中、時間を割いていただき、感謝しています。後日、幹事数名での打ち上げを行いましたが、その席で、定期的に集まれる場を作ろうということでした。一致しましたので、何とか次回へ繋げていこう

今年度の当番学年より

卒業してから30年を迎えて
当番学年幹事 松岡太郎
(昭61年卒)

創立100周年に向けて
準備委員会発足



| 平成28年度 本部総会・懇親会 | | |
|------------------------------------|--------------|-----|
| 日 時 | 場 所 | 主 催 |
| 平成28年8月6日(土) 12:11~10:00 | ホテルグランヴェール岐山 | 懇親会 |
| ※「第2回創立100周年を盛り上げる有志の集い」を兼ねて実施します。 | | |

創立100周年を盛り上げる有志の集い

平成27年10月16日、日本泉(本巣市上保)において「創立100周年を盛り上げる有志の集い」が、歴代PTA会長や各界で活躍される卒業生など、昭和30年卒から平成16年卒まで広い世代の合計53名が出席する中で開催されました。

本会報のタイトル横に記載されている卒業生数に誤りがありました。そのため、事務局で再度確認作業をした上で、今回から訂正後の人数を記載させました。

